組合員の一層の結集を

第55回通常総会で審議

上程した9議案を全て可決

上程した議案を審議

JAはだのは21日、秦野市文化会館大ホールで第55回通常総会を開いた。多くの組合員が出席し、上程した9議案全てを全会一致で可決した。

山口政雄組合長が、出席した組合員に「JAはだのへの一層の結集と協力をお願いしたい」と呼び掛けた。その後、これまで協同組合運動に尽力した組合員に対し、表彰状や感謝状を贈った。議案審議では全9議案が成立し、会場は満場の拍手に包まれた。（2、3面に関連記事）

山口政雄組合長を再選

専務理事 宮永　均
代表理事組合長 山口政雄
常務理事 小島敏雄
常務理事 村上浩行
常勤監事 伊藤洋一
代表監事 栗原孝夫

総会終了後、新執行体制最初の理事会および監事会を開き、代表理事組合長に山口政雄、専務理事に宮永均、常務理事に村上浩行と小島敏雄、代表監事に栗原孝夫、常勤監事に伊藤洋一を選出した。

新執行体制スタート

理事25人 監事5人

今年は役員改選の年であり、21日の通常総会で新役員が選任された。今回は、理事のうち16人が新任、9人が再任。監事5人が新任された。2016年4月の農協法改正により、理事の選出方法や役員定数などに変更があった。そのため、今回の役員改選では理事の過半数を認定農業者や実践的能力者らから選出。役員数は理事を36人から25人に、監事を7人から5人に変更した。

理事

遠藤　稔
久保寺孝一
髙橋照雄
牧嶋繁政
山岸　勉
矢野守男
田中和幸
片倉照雄
三武利夫
片野　敏
石田和廣
川口準一
清水　努
冨田京子
小泉裕子
宮村菊江
諸星正範
和田　稔
石井貞員

監事

山口和利
伊東勝司
尾澤誠一
北村順子
大澤玲子

JAはだの

発行所
秦野市
農業協同組合
（神奈川県）
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711㈹
編集兼発行者 宮永 均

今月の特集 4～5面

准組合員は農業の応援団

准組合員がJA事業を利用することで、経営の安定につながり、農業関連事業が強化される。秦野の農業の活性化へ「准組合員の役割」が注目されている。

総会日現在の組合員数	
正組合員	2984人
准組合員	11456人
総会に出席した組合員数	
正組合員	1887人
内訳 本人	795人
代理人	12人
書面議決	1080人
准組合員	688人

「母の日」はカーネーション

農家12戸が伝統守り出荷

櫛田さん夫妻の作業場に並ぶカーネーション

13日の「母の日」を目前に控えた今月上旬、花き部会カーネーション部の部員は、丹精して育てたカーネーションの出荷に連日汗を流した。

部長を務める秦野市の櫛田雅洋さんと妻の真弓さんは、約9アールのハウスで「母の日」に人気の高い赤系の「花火」など15品種を栽培。今シーズンは、じばさんずや東京都の市場などに約10万本を出荷した。

秦野市のカーネーション栽培は、葉タバコの後継作物として1960年代に発展。最盛期には190戸を超える農家が栽培していた。現在は高齢化や後継者不足などにより減少したが、12戸の農家が高品質なカーネーションを作り、産地を支えている。

櫛田部長は「これからも部員同士で協力しながら、伝統を守っていきたい」と意気込む。

本町支所の新店舗オープン

相談機能を充実、交流の場に

新たな門出を祝ってテープカットをする役職員ら

本町支所が7日、新店舗での営業をスタートした。オープニングセレモニーには、JA役職員や管内の組合員ら30人以上が出席。地域の新たな拠点の門出を祝った。

◇

オープンを記念して、利用者先着1000人を対象にスピードくじ抽選会を実施。店舗入り口には色とりどりの地場産の鉢花を積んだ宝船を展示した他、JAオリジナルキャラクター「ぴーなマン」のベビーカステラ「ぴーなマン焼き」を無料配布し、来店した多くの組合員らを歓迎した。

新店舗は鉄骨2階建てで、延べ面積は旧店舗の3倍となる約1100平方メートル。ローカウンターと相談ブースを設け、相談機能を充実させた。さらに、組合員らの交流の場となるよう、2階の多目的ホールや会議室を貸し出していく。

山口均支所長は「職員の意識も新たにし、これまで以上に地域から愛される店舗にしていきたい」と意気込みを語った。

インスタ若者に農業やJAの情報発信

公式ページを開設

JAがインスタグラムに開設した公式ホームページ

JAはだのは、スマートフォンで投稿する写真や動画の共有アプリ「インスタグラム」に、新たに公式ページを開設した。JA自己改革の重要項目に掲げる「広報活動の充実・強化」の具体策の一つ。若年層を中心とした消費者に、写真や動画を通じて農業の魅力やJAの取り組みなどを発信していく。

インスタグラムは、利用頻度の高いユーザーだけでも国内で2000万人を超え、特に10～20代の若者や女性が多く利用している。

JAは8日の開設から、じばさんずに並ぶ野菜苗やカーネーション、食農教育事業などの写真を定期的にアップ。順調にフォロワー数を伸ばしている。

公式ページは、JAのホームページや上記のQRコードから登録・閲覧できる。

学校に野菜苗や肥料

JAが食農教育を応援

学校農園用の野菜苗を仕分けるJA職員

JAはだのは、学校農園を開く市内の小・中学校に野菜苗や肥料などの生産資材を無償で提供し、食農教育を応援している。今年は8日に、各支所・支店の職員が各校にサツマイモやナスの苗などを配布。7～11日には、JAグリーンはだのでナタネかすや鶏ふんなどの肥料を引き渡した。

学校農園は現在、13小学校と6中学校が開園。子どもたちが農業への理解を深める体験学習の場として重要な役割を担っている。

JAはサポート体制も充実させている。地域の農家の協力を得て、栽培の指導や相談に応じる。さらに、希望校はPOP（店内広告）の製作などを自主的に行い、じばさんずで販売体験ができる。

接近！おじゃします ㉛

夫婦で運動し健康第一に

曽屋の井上　富士雄（いのうえ　ふじお）さん（67）

4月に中野生産組合の生産組合長に就任した曽屋の井上富士雄さん。農家の家庭で生まれ育ち、中学校を卒業後、運送業を営む会社に就職。平日は仕事に、休日は農作業に汗を流した。昨年には会社を退職し、現在は代々受け継いできた農地を守ろうと、毎日早朝から農業に励んでいる。

井上さんは、54アールの圃場（ほじょう）で、米やミカンの他、キュウリやナス、ショウガなど約20品目の露地野菜を栽培。普段は妻と農作業をしているが、米作りの繁忙期には息子も加わり、家族で協力して田植えや稲刈りなどを進める。

農薬を使わずに育てるのがこだわりで、収穫後は近くに住む子どもらに配っている。シカやイノシシ、ハクビシンなどによる農産物への食害や畑の掘り起しも多く、苦労の連続だが、食べた人の笑顔や「新鮮でとてもおいしい」などの声がやりがいになっている。

農業に励む一方で、生産組合長の他、地域の神社や自治会の役員なども務め、忙しい日々を過ごしている。

「働いている時はなかなか地域のことに協力できなかったので、これからは自分にできる範囲で貢献していきたい」と意気込む。

「孫の成長を見守るのが日々の楽しみ」と語る井上さん。今後について「夫婦で定期的に運動しているのでこれからも継続して、健康を第一に過ごしていきたい。家族みんなが元気に暮らしていければ」と笑顔を見せた。

やえのちゃんぴーなマンの「JAってなに？？」

地域で協同活動を推進

ぴーなマン：支所運営委員会って言葉をよく聞くんだけど、どんなことをしているの？教えて、やえのちゃん！

やえのちゃん：支所運営委員会は、JAはだのの各支所に設置されているわ。准組合員や地域の人たちにも農業やJAへの理解を深めてもらうために、地域に根差した協同組合活動を進めているの。

メンバーは、各地区の理事や生産組合、女性部、青年部などから選ばれているのよ。地元の野菜の直売や収穫体験、窓口に来店した人への農産物PRなど、地区によっていろいろな活動をしているの。

活動内容はこの機関紙「JAはだの」の他に、支所が毎月発行している「かわら版」でも紹介しているわ。「かわら版」で参加を募集しているイベントもあるから、チェックしてみてね。

ぴーなマン：地域に密着して活動しているんだね！教えてくれてありがとう、やえのちゃん。

JA綱領を唱和する受講者

共に地域づくりを
志し高く受講者126人

協同組合講座がスタート

JAはだのが組合員教育事業の一環として取り組む、2018年度の「協同組合講座」がスタートした。36年目を迎えた今年度は、126人が受講する。

同講座は①准組合員とその家族を対象に、農業やJAの基礎を学ぶ「組合員基礎講座」②農政や生活文化など幅広く学習する「組合員講座」③組合員講座修了者を対象に、専門的な知識を身に付ける「専修講座」の3種類で構成する。

1日には、JA本所で開講式を開催。山口政雄組合長が「仲間と共に多くを学び、地域づくりに役立ててほしい」と激励した。その後、農林漁業団体職員共済組合（農林年金）の松岡公明理事長が「協同組合の〝かたち〟と〝こころ〟」と題して講演。協同組合の在り方を説明し、目標を見据えてJAの活動などに取り組むよう呼び掛けた。

児童ら野菜作りを体験
農家がサークル立ち上げ

今泉の野菜農家の原聡さんは、南小学校に通う児童とその保護者を対象に、参加者が互いに協力して野菜を作る「あぐりっこサークル」を立ち上げた。若い世代の農業への関心を高めるとともに、地域の交流を図ることが狙いだ。

同サークルは、同校やPTAのサポートを受けて実施しているもので、参加費は無料。参加者は原さんの指導の下、ポップコーン用のトウモロコシやサツマイモなど年間を通して4品目を栽培する。収穫した野菜は11月に同校が開く祭りで販売し、売り上げを同校に寄付する仕組み。

4月30日には、親子連れ約30人が参加。原さんが耕した畑に肥料をまいてマルチを張った。その後、参加者同士で会話を楽しみながら、トウモロコシの種をまき、サツマイモとオクラの苗を植え付けた。

原さんは「サークルをきっかけに農業を身近に感じてもらえたらうれしい」と期待を寄せた。

原さん㊥の指導を受けながらトウモロコシの種をまく親子

農業支えるサポーター 准組合員

積極的にJAを利用しよう

農業の振興に努めるJAにとって、准組合員はなくてはならない存在だ。准組合員がJA事業を利用することでJAの経営が安定し、農業関連事業の運営や地域に必要なサービスの維持が可能となる。今後、農業を支えていくために、正組合員と准組合員それぞれが「准組合員の役割」を再確認することが求められている。

「JAはだのみんなで地産地消運動」のポスター

まず地産地消
安全・安心第一に考え

准組合員の身近な取り組みとして、2016年5月の通常総会で採択した「JAはだのみんなで地産地消運動」に参加することがある。じばさんずや農家の直売所に並ぶ安全・安心な農産物を購入することで、農家の所得向上につながり、農家の生産意欲が高まる。その結果、品質の高い農産物がより多く出荷されるようになるため、正・准組合員の相互に良い効果が生まれる。

イベントで地域興しを
支所ごとに活動

JAはだのは、各支所に支所運営委員会を設置している。同委員会は、会を構成する農家と准組合員が協力し、農産物の収穫体験の開催や「ふれあいまつり」への参加など、支所ごとにさまざまな活動をしている。

准組合員にとって、イベントに積極的に参加して地元や農業の魅力を知り、共に地域を盛り上げていくことも重要な役割だ。

支所運営委員会主催のイベントで落花生を収穫

思いは同じ 互いにエール

農家も准組合員に期待
堀山下の農家組合員 山口 哲治さん

准組合員への期待を語る山口さん

「准組合員には秦野の農業やJAのことをもっと知ってほしい」と話す堀山下の山口哲治さん。現在、1㌶の畑でエダマメやキュウリなど約20品目を栽培している。青年部の副委員長として精力的に活動している他、同部がじばさんずで毎月実施している対面販売イベント「ユースマルシェ」ではリーダーに就任。秦野の農産物の魅力を多くの消費者に伝えている。

山口さんは「一般の消費者と違うのが、准組合員だと思う。秦野産の良質な農産物を買うだけではなく、その良さを周りの人にPRし、秦野の農業を積極的に応援してほしい」と期待を寄せる。

JAは身近な存在です
本町の准組合員 林 俊夫さん

JAの活動に積極的な林さん

本町の准組合員の林俊夫さんは、以前はJAを農家のための組織だと思っていた。しかし、本町支所長に勧められて受講した協同組合講座をきっかけに、JAの役割や活動を知って親しみを持つようになった。現在は、本町支所運営委員会のメンバーを引き受け「多くの人にJAを身近に感じてもらいたい」と、積極的に活動に参加している。

林さんは「地域とのつながりが強いJAは、なくてはならない存在だと思っている。地産地消や事業利用など、准組合員が自分でもできることでサポートしていければ」と思いを語る。

貯金を通した農業の応援も

JAはだのは、貯金を通じて農業を応援できる「農業応援定期貯金」を取り扱っている。3月から取り扱いを始め、4月末までに契約額1億6350万円を突破。すでに多くの准組合員らが、貯金をしながら秦野の農業活性化を後押ししている。

同定期貯金は、契約期間1年のスーパー定期貯金で、1口50万円以上が条件。貯金総額の0・02％相当額をJAの「地域農業振興費」に充当し、観光農業の活性化や生産資材コストの低減などの農業振興策を充実させるもの。取扱期間は2019年2月28日までとなっている。

貯金者には、50万円ごとに同定期専用の「くみあい利用券」500円分を進呈。上限は1000円分まで、管内にあるJAや農家の農産物直売所合計9カ所で使用できる。

学ぼう協同組合
食と農への見聞広める

横浜港視察で地場産の安全性を再認識

JAばだのは、組合員にJAの取り組みや協同活動について理解を深めてもらうことを目的に、協同組合講座などの教育活動を実施している。

准組合員を対象にした組合員基礎講座では、食と農への関心を高めるために収穫体験や輸入農産物倉庫の視察を盛り込んでいる。多くの准組合員が受講し「協同」の理解者を増やすことで、組合員同士の関係強化につながっていく。

いきいき女性部活動
「絵手紙の会」
代表 和田 美智子さん

「絵手紙を描いてみたいね」という声でスタートしてはや13年。活動は毎月第2月曜日の午後、上支所の会議室で行っています。

小さなはがきに絵を大きく描き、言葉も大きな字で書きます。仕上げに画印を押すと絵が締まって見えます。画印は手作りです。季節の花や身近なものを描き、時にはスケッチに出掛けます。農業まつりなどの行事の他、上支所やじばさんずに展示させていただいています。昨年は、上支所のお茶飲み交流会の参加者に、絵手紙のコースターをプレゼントしました。作品は互いに批評し合い、楽しい気持ちを大切に、上手く描こうと気負わず気軽な気持ちで描いています。

気になる方は一緒に参加してみませんか。笑顔の輪が大きくなることを望み、お待ちしています。

茶園オーナー摘み取りに汗

はだの都市農業支援センターは6日、菩提の髙梨茶園で「お茶農園オーナー」を開いた。観光農業振興を目的とした「農園オーナー制度」の一環。3組6人が参加し、手摘み作業に汗を流した。

オーナーらは、園主の髙梨孝さんから摘み取り方などの説明を受け、自身の茶畑で作業をスタート。他のオーナーとも会話を弾ませながら、3時間の作業で約15㌔の茶葉を摘み取った。生葉を集めた後は、加工場内で茶葉を蒸す作業も体験。蒸し上げた茶葉は冷凍保存し、12月の手もみ茶作りの材料として使用する。

同制度は、オーナーが区画数を決めて申し込み、収穫や加工などの作業を体験できるもの。4月には施肥や草取りをして、自身の茶畑の管理を進めてきた。

茶葉を摘み取るオーナーら

親睦を深める
バードゴルフ大会

JAはだのは14日、市なでしこ運動広場で「第8回JAはだの組合員ターゲットバードゴルフ大会」を開いた。組合員の健康増進と親睦を深めることが目的。組合員ら36組122人が参加した。

羽根を付けた専用のボールを使い、力加減や打ち出す方向を考えながら競技を進めた。18ホールを回って打数を競い合い、男性は羽根の井澤敏さん、女性は南矢名の大久保雅子さんが優勝した。

狙いを定めボールを打ち出した

おやき調理方法を確認
女性部が講習会

女性部は8日、本所の調理実習室で料理講習会を開いた。次世代に秦野の伝統の味を伝える「ふるさと料理教室」で教える「おやき」の調理方法を確認することが目的。本部役員19人が参加した。

同部の草山美重子顧問が「野菜」「漬物」「落花生あん」の3種類を指導。具材の水分を飛ばすことや包みやすいように生地を大きく伸ばすことを教えた。部員は、生地の固さや材料を切る大きさなど、調理する上での細かい注意点を確認しながら作業を進めた。

生地で具材を包む部員

発見 頑張り屋さん No.421

地域に親しまれる店へ

下大槻の―原 秋穂さん（68）

下大槻で㈲ハラ書店を経営する原秋穂さん。広畑小学校が開校したことをきっかけに原さんの父親が文房具店を始めた。その後、地域の要望に応え書店へと事業を変換。その過程で店長となり、経営にも腕を振るってきた。

5年前に大きな病気を患ったが、日々リハビリに励み、現在も代表取締役として店を守っている。

―主な業務は？

経営と営業です。ネット社会で顧客の利便性が上がっているため、公共機関への教育資材の販売や冊子体として需要が見込める場所への推進が重要になっています。

―心掛けていることは？

「自分のため」ではなく「人のため」と思って働くことです。また、流行を常に意識して情報を集め、時代に合ったものを仕入れています。

―こだわりは？

お客さまのニーズに応えられるよう、本の他にも、芯が折れにくいシャープペンシルやカラフルな文房具などさまざまなものを取りそろえています。

―趣味は？

読書です。どんな種類でも読みますが、お薦めは池井戸潤さんや今野敏さんの本です。ゴルフも大好きなので、再びプレーすることを目標にリハビリを頑張っています。

―JAとのつながりは？

農業もしているので昔から取り引きしています。最近は毎年、人間ドックをお願いしています。

―今後の展望は？

健康の大切さを身に染みて感じたので、体を大事にしていきたいです。これからも家族と協力しながら、地域から親しまれる店づくりに励んでいきたいと思います。

青年部が花苗植え
秦野の花をPR

花苗を植え付ける部員

青年部は23日、本所の玄関前にある花壇に、部員が育てた花苗を植え付けた。同部が取り組む「花いっぱい運動」の一環。部員19人が定植作業に励んだ。

部員は草取りをして管理機で耕した後、防草用マルチを敷き詰めた。その後、ジニアやアゲラタムなど11品種280ポットを1株ずつ丁寧に植え付けた。

冨田茂靖委員長は「今後も活動を通じて秦野の花をPRするとともに、美しい花で来所者の心を和ませていきたい」と笑顔で話した。

秋には冬用の花苗に植え替え、年間を通して地場産の花をPRしていく予定だ。

長寿者に記念品贈呈
いきいきライフ支援事業

おめでとうございます。末永くお元気でお過ごしください。

88歳（米寿）

▽大根地区＝谷内和子（鶴巻南）▽東地区＝関野金一（名古木）▽南地区＝高橋旭（尾尻）

77歳（喜寿）

▽本町地区＝野村安子（曽屋）▽東地区＝村山節子（名古木）小泉俊（寺山）竹村敏（名古木）▽南地区＝金井隆次（鈴張町）多田義治（今泉）▽西地区＝青木昌巳（堀川）大滝節子（堀西）

※自己申告ですので、該当の方は各支所・支店までご連絡ください。

文芸の窓

〈俳句〉（酒井　敏光　選）

緑陰や背ナの揺れてる子守歌　佐藤英美子（南矢名）
朱に映えて檜皮の宮の風薫る　森高　由子（渋　沢）
立ち話老いの明るさ豆の花　高島美和子（名古木）
おだやかや帆波光らせ子供の日　吉田　清美（渋　沢）
新緑やガラスの森のカンツォーネ　菊池としえ（菩　提）
絵心のつと立つコップの土筆にか　志賀　明子（千　村）
山の幸たけの子飯に和む膳　芦川　松江（八　沢）
万緑や覚圓峰の修行僧　石原　松枝（渋　沢）
衰えを知るこの頃や梅は実に　酒井　紗恵（桜　町）
満面に海光とどく茶摘みかな　柴崎　和子（渋　沢）
新緑へリュックをのせてバス登る　高橋　順子（大秦町）
新緑の一樹一樹に陰をもつ　柳川みち子（栄　町）
蒲公英の絮の護りの平和かな　選者

〈短歌〉（久保寺　富男　選）

畦道をふきくるかぜに身をゆだね
行く野の果てに糸遊たゆたう　細田　富士（千　村）

評　緑滴る畦道を心豊かに歩む作者の姿が髣髴とします。糸遊とは陽炎（広辞苑）原作の4句目（春の青空）を添削しました。

五月晴れ幼き声に一年生
先輩たちとハミングしてゆく　石田こずゑ（水神町）
雨戸をば開け閉めするも幾歳ぞ
ことなく今日のひと日を閉じぬ　今井　かめ（羽　根）
白き家に白きドレスの婦人入る
付き従える影もろともに　八木　実（鶴巻北）
孫迎えんと急ぎ来れば園庭に
小さき手を振る笑顔まぶしも　久保田　浩（寺　山）
鳥獣と知恵比べなり菜園に
網巡らせてトウモロコシ播く　伊東　久（渋　沢）
歌作るより畑作れと言ひましき
大正昭和を生き抜きし父は　選者

今月の理事会

5月17日に理事会を開催し、次のことを審議しました。

▽2017年度決算監査「改善を要する事項」に対する顛末報告について
▽参事の解任について
▽役員改選に伴う理事の引継ぎについて
▽2017年度出資配当金・事業分量配当金の支払いについて
▽2017年度業務報告書および連結業務報告書について
▽2018年度春の座談会意見・要望の対応について
▽JAはだのケアセンター運営規程（指定訪問介護事業）の一部変更について

職員人事

かっこ内は旧部署。
◎4月30日付退職
久保勇樹（西支所）
◎5月10日付異動
井上朝実＝生産資材課
JAグリーンはだの（店舗販売課）
◎5月20日付退職
小島敏雄（参事）伊藤洋一（監査室長）

家の光　今月の新刊

みそ・塩・しょうゆのシンプルおかず

おいしい家庭おかずの会　編

うまい！　味が決まる！
みそと塩としょうゆさえあれば、ご飯はおいしく作れる。
シンプルな味付けで、肉や野菜など素材の持ち味を生かし、よりおいしく手軽に仕上げるこつを伝授。基本の調味料を使いこなして、料理上手に。
定価1188円（税込み）

決定版 コンパニオンプランツの野菜づくり

育ちがよくなる！病害虫に強くなる！植え合わせワザ88
木嶋利男　著

種類の異なる野菜を一緒に植えることで成長を促進させ、病害虫の被害を防ぐという「コンパニオンプランツ」。相性のよい88の組み合わせと栽培方法、植え合わせの技を、分かりやすいイラストで詳しく紹介。
定価1836円（税込み）

ここまでできる！まな板いらずの絶品レシピ

金丸絵里加　著

まな板と包丁を使わなくてもおいしい料理が作れる、画期的なレシピ集。狭いスペースでも、疲れている日でも「これならつくれる」と思える満足おかずが満載。家事を減らしたい忙しい人の味方。
定価1188円（税込み）

秦野の農家ご飯

カレー風味揚げワンタン

本町支部　廣井　久子さん

■材料（4人分）
豚ひき肉150㌘、タマネギ1／4個、落花生30㌘、ショウガ15㌘、酒大さじ2、カレー粉小さじ1、こしょう少々、青じそ15枚、塩こうじ大さじ1、ワンタンの皮1袋、片栗粉大さじ1

＜作り方＞
①落花生とショウガをみじん切りにしておく。タマネギはみじん切りして片栗粉をまぶしておく。
②ボウルに豚ひき肉と酒を入れて混ぜる。落花生、ショウガ、カレー粉、こしょう、塩こうじを加えてよく混ぜる。
③ワンタンの皮に青じそを敷き、②を小さじ1のせて三角に折る（細長く棒状にしても良い）。
④170度の油でからっと揚げたら完成。

＜ひとことアドバイス＞
秦野の特産品である落花生を入れた料理です。カレー風味なので子どもにも好評です。お好みでケチャップや甘酢あんで召し上がってください。

6月の女性部行事予定表

1日（金）	10：00～球技大会代表者会議
〃	13：00～本部役員会
5日（火）	5：30～海外企画旅行（8日まで）
8日（金）	14：00～乳がん子宮がん検診（大根・南）
11日（月）	13：00～支部役員会（上）
〃	13：30～支部役員会（本町・南）
〃	15：00～上支部「ゴキブリ団子作り」
〃	15：00～南支部「ふるふる芳香剤作り」
12日（火）	13：00～いきいきレディース交流会（13日まで）
14日（木）	9：00～支部役員会（大根）
〃	9：30～支部役員会（東・西）
〃	11：00～大根支部「料理講習会」
〃	13：00～大根支部「ゴキブリ団子作り」
〃	13：30～支部役員会（北）
15日（金）	14：00～乳がん子宮がん検診（本町・東）
18日（月）	9：30～ふるさと料理教室（みどりこども園）
〃	19：00～ボルケットボール審判講習会
20日（水）	9：30～西支部「酢の料理教室」
〃	13：30～本町・北支部「酢の料理教室」
21日（木）	9：30～大根支部「酢の料理教室」
〃	13：30～東支部「酢の料理教室」
22日（金）	9：30～ふるさと料理教室（うきうき体操クラブ）
23日（土）	14：00～はだの男女共同社会フォーラム2018
26日（火）	9：30～ふるさと料理教室（すえひろこども園）
28日（木）	8：30～大豆プロジェクト種まき ※雨天の場合は7月2日（月）
29日（金）	9：30～ふるさと料理教室（本町幼稚園）
〃	9：30～西支所「お茶飲み交流会」

JAグリーンは農家を応援します

農薬や防除マスク格安で

JAグリーンはだのは6月10日（日）～19日（火）、水稲用農薬や散布時に使用するマスクなどの割引キャンペーンを実施します。期間中は特別価格で販売しますので、お得なこの機会にぜひご購入ください。
お問い合わせはJAグリーンはだのまで。☎81－7719

水稲用資材のキャンペーン

税務相談日　6月11日（月）　午前9時30分～
法務相談日　6月21日（木）　午後1時30分～
場所　本町支所
・予約制ですので、事前にお電話にてご予約をお願いします。受け付け順に相談時間が決まります。
・受け付け・ご予約は協同コンサルタントはだの　☎81－2329

結婚相談日
6月10日（日）
時間　午前9時～正午
場所　本所農業団地センター1階
お問い合わせ　組織教育課☎81－7714

休日ローン相談会

住宅の新築・お借り換えやお車のご購入、お子さまの教育資金など、各種ローンのご相談を無料で承っております。お気軽にご相談ください。

日時　6月2日/9日/16日/23日
※時間は午前9時～午後4時
全日程土曜日開催！
場所　本町支所　ご来場の方に記念品を進呈
ホームページより、事前予約と日程などの確認ができます。
どなたでもご相談いただけますので、お気軽にご来場ください。
各種ローンの相談は　融資課　0120-954-093

JAのさらなる発展に熱心な意見

第55回通常総会では、三つの議案について組合員の皆さまから質問や意見が挙がりました。会場に集まった組合員を代表して発言した3人の質問や意見、ならびにJAはだのの回答（要旨）を紹介します。

改正生産緑地法への考えは

大根地区　門倉（かどくら）　裕（ゆたか）氏

門倉氏　第1号議案の82～83㌻に関連した内容です。私は資産運用部会の役員をさせていただいている立場から、昨年度は「改正生産緑地法」に関する研修会、勉強会に積極的に参加させていただき、生産緑地の買い取り申し出やあっせんによる農地流動化の可能性について学んでまいりました。

生産緑地が指定されてから30年を経過した場合、所有者は市町村に対し買い取りの申し出ができ（生産緑地法第10条）、市町村が買い取らない旨の通知をしたときは、当該生産緑地において農林漁業に従事することを希望する者が、これを取得できるようにあっせんすることに努めなければならない（同法13条）とされています。

都市の農地については国土交通省も「都市にあるべきもの」と位置付け、生産緑地制度の面積要件を引き下げるなどの法改正も行われ、より都市農地を保全する方向になっています。

そこでお伺いいたします。生産緑地の指定から30年を経過した生産緑地は、10年ごとに指定を更新できる特定生産緑地制度が導入されると聞きました。その内容と今後のJAはだのの展開についてご意見をお伺いします。

山口組合長　2017年6月に生産緑地法が改正され、生産緑地を保全する仕組みとして「特定生産緑地制度」が創設されました。特定生産緑地とは、指定から30年が経過しようとしている生産緑地について、10年間の延長が可能になるというものです。

なお、特定生産緑地の指定を受け、引き続き農地を管理することにより、税制上の優遇措置が継続されます。

この新制度では、10年間は農地として営農を続けることが必要ですが、その間は安心して農業を続けることが可能となります。

また、10年の間に相続や営農に困難が生じた場合には、これまでと同様に市町村に対して買い取り申し出ができます。

生産緑地は農地が残り、農業者が農業を継続していくことはもちろん、市民農園など別の形でも活用し、地域コミュニティづくりや健康増進の場にもなるものです。これは地域住民にとっても魅力があるものと考えます。

特定生産緑地の早期導入と生産緑地地区の指定面積要件の引き下げに向けて、JAの役割を果たし、組合員の負託に応えていきたいと考えております。

市民農園などの充実について

門倉氏　高齢化の進行や農のある暮らしに対する認識の広がり、地域コミュニティの再生に対する機運の高まりなどを受け、市民農園や観光農園などに対するニーズは、今後ますます高まるものと予想されます。そのため、市内に農作業を体験することができる環境を確保することが課題となっています。

市民農園や体験型農園での農作業体験を希望する市民は多いと思われます。その中でも市民農園は応募倍率がとりわけ高く、需要に対する供給が追いつかない状況であります。

生活の中で市民農園などを通じて農業に親しむことは、地域住民への農業理解を深め、農村生活への関心を高めるものであり、施策の充実が求められています。

そこで、お伺いいたします。市民農園、観光農園などがもたらす効用についてどのように分析しているのか。

また、市民農園、観光農園などの充実のために、JAはだのとしてどのように取り組んでいくのか、前向きなご意見をお伺いしたいと思います。

山口組合長　JAが運営している「さわやか農園」は、一般市民に対して自然との「ふれあいの場」を提供することにより、荒廃地の解消、地域の活性化、農業に対する理解を深めてもらうとともに、JAとして「消費者

（3面に続く）

組合員が続々と入場

第55回通常総会あいさつ（要旨）

秦野市農業協同組合　代表理事組合長　山口（やまぐち）　政雄（まさお）

2017年の日本経済は、消費の持ち直しと輸出の加速を背景に安定した景気回復が続いているものの、物価の上昇基調の弱さや賃金の伸び悩みなど、生活実感は乏しい1年でありました。

農業を取り巻く環境では「CPTPP」や「日EU・EPA」など、我が国の農業に多大な影響を及ぼすことが懸念される大型の自由経済協定の交渉が進展する中、農業の競争力強化を目的に、大規模農家や企業などによる農業経営の育成に重点を置いた産業的な政策が進められました。

一方「都市農業振興基本計画」や「改正生産緑地法」を受け、都市市農地のあり方や有効活用など、農地保全に向けた取り組みも進められています。

JAはだのでは、このような情勢の中、農業者の所得増大や農業生産の拡大、地域の活性化に向けた自己改革に取り組むとともに、さらなる農業振興と協同組合運動の躍進に向けて「第四次中期経営計画」の中間年度の実践に取り組んでまいりました。

営農指導事業では、「JAはだの営農経済改革」をさらに推し進め「第二次地域農業振興計画」の最終年度の実践に取り組みました。

また「はだの都市農業支援センター」と連携し、担い手の確保・育成、観光農業振興に努めました。

こうした中「はだのじばさんず」を拠点とした買取販売を進めるとともに、全国でも珍しい直売所オリジナルの「Jiba－GAP」を導入し、新鮮で安全・安心な地場産農畜産物および農産加工品の供給に努めてまいりました。

経営管理では、農協法改正に伴う役員体制の見直しを行い、今回の改選に向けた整備を進めるとともに、信頼されるJAづくりのため、コンプライアンス態勢や人事労務管理の強化を図り、経営の健全性と信頼性の向上に努めてまいりました。

今後も、地域農業と地域社会の活性化に貢献し、組合員から、また地域から「必要とされるJAはだの」づくりを目指し、組合員の負託に応える運営に努めてまいります。

さらに、全ての組合員と役職員が一丸となってJAはだの自己改革を実践し、農業者の所得増大や農業生産の拡大、地域の活性化に取り組んでまいります。

いずれにしましても、基本理念である「夢のある農業と次世代へつなぐ豊かな社会を地域できずく」の実現を目指し、協同組合運動を展開してまいります。

最後に、組合員の皆さまの「JAはだの」への一層の結集とご協力をお願い申し上げ、総会開催に当たってのごあいさつとさせていただきます。

地域から必要とされるJAへ

組織運営では、女性や農業後継者らの正組合員加入を促進し、組織基盤の強化に努めるとともに、支所運営委員会を中心とした、組合員組織や地域の活性化と充実を目的とした協同活動を展開してまいりました。

6次産業化への対応は

女性部　熊澤（くまざわ）　淳子（じゅんこ）氏

（2面からの続き）

との共生」「次世代との共生」およびJA事業の利用拡大を進めていきたいと考えております。

「さわやか農園」は、2000年6月に上地区八沢に4480平方㍍の農園で26区画を開園して以来、今年度は市内全体で6万3019平方㍍で345区画・43園に増えています。今後も「さわやか農園」の利用者が増えることが見込まれます。

観光農業は、地域の環境と景観の保全・向上と併せて、地域農業の振興・活性化に寄与する役割を担っています。掘り取り観光では、9月から11月に市内4団体が実施し秦野市内外より3922人の参加がありました。今後の取り組みとしては、さらに秦野の農業の魅力をPRし、オーナー制度や収穫体験のさらなる活性化を図るとともに、情報発信機能を充実させた中で、観光農業の運営体制を支援いたします。また、今年度から新たに体験型農園の支援にも取り組んでいます。

門倉氏　ありがとうございました。さらなる観光農園へのご支援を期待申し上げます。

熊澤氏　女性部はJAはだのが取り組む「みんなで地産地消運動」を実践し、秦野産農畜産物を一日一品以上食すことや、秦野産の花を飾り、心豊かに生活を送ることを心掛けています。第2号議案の第三次地域農業振興計画の中にも6次産業化を支援するとありますが、JAとしてはどのように対応するのでしょうか。また、個人の加工者を支援していますが、加工者のグループ化は考えていないのでしょうか。考えをお聞かせください。

村上常務　女性部の皆さまにおかれましては、日頃から女性の立場からJAの活動に積極的に参加、参画していただいておりますこと、まずはお礼を申し上げます。

農畜産物の6次産業化、加工事業についてのご質問ですが、現在、じばさんずで販売している加工品の年間販売金額は1億円を超えて、全体の10%と非常に大きなウエートを占めており、消費者の人気を集めております。

しかしながら、当JA管内の農産加工グループにおいては、残念ながら一部で部員の高齢化により存続が危ぶまれているという実態もお聞きしています。JAとしてもグループ員の後継者対策について、現部員の皆さまの意向を尊重しつつ、将来に向けて展望が開けるよう対策に一緒に取り組んでまいります。

万歳三唱で締めくくった

また一方では、市内各地において新たに農産加工に取り組む個人の方々も増えており、JAとしては各種農産加工セミナーを引き続き開催していきます。昨年からは、毎月加工相談会を開催するなど、加工に携わる方や始めようと考えている皆さま方の支援をよりきめ細かに行っていく

協同組合運動に尽力した組合員を表彰

熊澤氏　ありがとうございます。ぜひとも農産加工に力を入れていただきたいと思います。

話は変わりますが、女性部では100歳まで元気に生活ができる体づくりと、秦野の農産物をイメージしたJAオリジナルキャラクターのPRも兼ねて「ぴーなマン体操」と「やえのちゃん音頭」を制作いたしました。組合員の皆さまも農作業の合間や地域の交流の場で、ぜひ体操や踊りを広めていただきたいと思います。

また、オリジナルキャラクターをプリントしたTシャツを作成いたしました。同じTシャツを着て活動することで仲間の結束が深まっていきます。女性部共同購入で販売していますので、ぜひ女性部に加入していただき、ご購入をお願いいたします。

有利販売に向けた方策は

青年部　冨田（とみた）　茂靖（しげやす）氏

冨田氏　JAでは、農業所得増大に向け、規格外品を活用した「丹沢はだの梨サイダー」など各種加工品の開発が行われ大変心強いところです。

しかし、規格外品の活用が所得の増大に与える影響は限定的であると考えます。値下げ競争に陥る傾向が強い直売所を嫌い、より高い価格が期待できる農産物の規格外品の取り扱いによる農業所得増大は限定的だという意見ですが、確かに私もご指摘の通りだと思います。

皆さまもご存じかとは思いますが「丹沢はだの梨サイダー」や「丹沢はだの梨飴（あめ）」など規格外品を使った商品の開発にも積極的に取り組んでまいりました。これは、農業者の方が丹精込めて作られた農産物を無駄にしないようにと始めたもので、農業所得増大が求められている中「1円でも多く売り上げを伸ばそう」「農業所得増大につなげよう」と取り組んできました。

生産から加工、販売を一体化した6次産業化というものがあります。この6次産業化を通じて、じばさんずの魅力を高めていくとともに、一般の農産物の消費拡大への相乗効果を狙っているところです。

規格外品の取り扱いについては、何とぞご理解をいただきたいと思います。

ご指摘でもあった農業所得増大に努めることもちろんですが、同時に秦野市内全体の生産の拡大も図り、農業振興による地域の活性化にも取り組んでいるところです。

農産物の生産拡大と販路拡大については、第2号議案で上程させていただきました第三次地域農業振興計画を着実に実践することであると考えています。秦野市の農業総生産額およそ30億円を少しでも大きくできるよう取り組んでまいります。そのためにも青年部の皆さま、農業者の皆さまと一緒になって汗をかき頑張っていきたいと考えています。

そして、農業生産拡大には農家後継者の育成、新規就農者の育成が必要です。これらについては秦野市の支援をいただきながら「はだの市民農業塾」などを通じて、新たな担い手の育成確保を積極的に行っていきたいと考えています。

また、これによって遊休農地も少しでも減らしていきたいと考えております。その中でも有利販売拡大については、これまでも力を注いできました。卸売市場への出荷も当然で、この件については各種部会の共販を通じ、しっかりと取り組んでいきたいと思っています。

すでに実施しているスーパーへのインショップ、じばさんずの産地間提携先への出荷体制の充実を図るとともに、大学学食への食材提供による有利販売と販路拡大につなげていきたいと考えています。

さらには、じばさんずの充実も図っていきます。これらについては、第三次地域農業振興計画の中で具体化してありますので、それに基づきしっかりと取り組んでいけるものと確信しております。そしてもう一つ、秦野市においては市街化区域農地が全体で200㌶あり、その中の102㌶が生産緑地制度を活用しています。これについては先ほど組合長が答弁させていただいたとおり、都市農業振興基本法が公布されました。この法律は都市における農地、すなわち市街化区域農地を宅地化すべきものから、あるべきものに変えようと法律が公布されたものです。従って、102㌶の生産緑地制度を適用された、または200㌶の市街化区域の農地、こうしたところでも農業生産ができればと考えています。

具体的には、今年4月に平沢で指導型体験農園を開園いたしました。農家のご理解ご協力もあって開園にこぎ着けたところでございます。これについては、農業者の所得増大にしっかりとつながるものですので、これらについても一緒になって考え、取り組んでいきたいと思います。

いずれにしても、組合員や青年部の皆さま方としっかりスクラムを組んで、明日の秦野市の農業のために頑張っていきたいと思いますので今後もご協力をお願いし、ご回答とさせていただきます。

冨田氏　ありがとうございます。今後も生産資材価格の低減策などと併せ、農業所得増大に向けたJAの取り組みにご期待を申し上げて、質問を終わりたいと思います。

告知板

第32回農薬保管管理コンクール

農薬の正しい取り扱いや保管管理に対する意識向上を目的に、第32回農薬保管管理コンクールを実施します。

◎実施日　6月20日（水）

◎審査内容　応募者宅を巡回し、経営状況や農薬の使用状況、散布時の服装などを聞き取りしながら、保管状況を審査します。

◎審査員　県農業技術センター、市農産課、JA営農課

◎応募締切日　6月4日（月）までに各支所・支店に申し込んでください。

入賞者には農業まつりで表彰し記念品を贈ります。また、全員に参加賞を贈ります。

お問い合わせは営農課まで。☎81－7718

生産組合土壌診断の実施

畑や水田の土壌を分析し、適切な施肥管理によって生産性や品質の向上を図るため、土壌診断をします。

◎土壌（分析サンプル）の回収　6月26日（火）～27日（水）

◎対象作物　秋野菜、その他

◎分析・診断項目　水素イオン指数（PH）、電気伝導度（EC）、硝酸態窒素、リン酸、カリ、石灰、苦土

◎採土袋　各支所・支店、営農課で用意しています。袋が足りない場合は封筒での代用も可能です。

◎提出場所　各支所・支店または営農課

※分析用の土は日陰で乾燥させ、ふるいに通してから袋に入れてください。量は、ふるいに通した土なら袋半分、通していない土は袋いっぱい入れてください。採土した畑や水田の地番の他、氏名、自宅住所も記載してください。

◎結果検討会　8月中旬に処方箋を付けて郵送

お問い合わせは営農課まで。☎81－7718

生産緑地の追加指定について

平成30年度分の生産緑地地区の追加指定の申し出と要望を受け付けます。追加指定できる農地には条件があるため、希望される方は事前にご相談ください。

◎受付期間　6月1日（金）～15日（金）（土・日除く）午前8時30分～午後5時15分

◎場所　秦野市役所西庁舎2階　都市政策課

お問い合わせは秦野市都市政策課まで。☎82－9643

農業機械レンタル講習会を開催

農業機械利用事業の一環で、4月から剪定（せんてい）チッパーのレンタルを開始しました。機械での事故防止と利用者の安全確保のため、利用する際には事前に講習会の受講をお願いしています。

お気軽にご参加ください。

◎日時　6月17日（日）午前9時～

◎場所　本所農機センター

◎対象者　JAはだの組合員

◎内容　チッパーの取り扱い方法について

お問い合わせは、農機センターまで。☎81－8394

じばさんずのパート職員募集

じばさんずは、パート職員を募集しています。働きやすい職場ですので、お気軽にお電話ください。

◎業務内容　レジおよび品出し

◎時給　990円

◎時間　午前8時～午後7時（時間内でシフト制）

◎待遇　社会保険完備・交通費規定支給・車通勤可など

お問い合わせは、じばさんずまで。☎81－7707

図書室のご案内

本所農業団地センター3階の図書室には、農業をはじめ、料理やガーデニング、健康など、生活に役立つジャンルの本が5000冊以上並んでいます。家の光協会出版の新刊図書も用意しています。ご活用ください。

◎貸出期間　2週間、1人3冊まで

◎開室日　月～金曜（土日・祝祭日を除く）

◎開室時間　午前8時30分から午後5時まで

◎貸し出し・返却　図書室にある専用の用紙に必要事項を記入するだけの簡単な手続きです。

お問い合わせは組織教育課まで。☎81－7714

農産加工品相談会を開催

農産加工品をテーマにした相談会です。どなたでもお気軽にご参加ください。

◎日時　6月13日（水）午前10時～午後4時

◎場所　本所農業団地センター2階　調理実習室

◎内容　午前は、県農業技術センターの職員による講義・実演。午後は、個別に相談をお受けします。

お問い合わせは生活福祉課まで。☎72－7661

じばさんずNEWS

【6月のイベント】

☆「ユースマルシェ」2日（土）
青年部員がキュウリやカブ、ズッキーニなどを対面販売します。

☆「カレー祭り」3日（日）
JA自慢のカレー粉と秦野産のお薦め野菜を紹介します。

☆「国産加工豚の日」9日（土）、23日（土）
㈱フリーデンが、国産豚を使った加工品を対面販売します。

☆「おすすめ品」9日（土）、10日（日）
㈱旭洋がお薦めの乾物を販売します。

☆「梅フェア」10日（日）
梅酒用の梅（白加賀）や梅干し用の梅（南高）などを販売します。レシピも用意しています。

☆「とうもろこしフェア」30日（土）
秦野産のトウモロコシをゆでて販売します。

☆「父の日フェア」16日（土）、17日（日）
2000円以上お買い上げで、牛乳がもらえる外れなしのくじ引きが1回できます。

☆「洋ラン即売会」16日（土）、17日（日）
農家が洋ランを対面販売します。

☆「手作りこんにゃく試食販売」24日（日）
農家手作りのコンニャクを販売します。

☆毎週月、金曜日は「たまごの日」
店頭価格から10%引きです。
※「みくるべたまご」は除きます。

☆毎週火曜日は「試食の日」
旬の野菜を使った料理を紹介します。

☆毎週水曜日は「お米の日」
店頭価格から10%引きです。

☆毎週木曜日、29日は「肉の日」
店頭価格から5%引きです。

☆6月12日（火）は定休日です。

今月の生産者

末広町の　高橋（たかはし）　のり子（こ）さん

出荷品目　ブロッコリーやネギなど露地野菜を年間20品目

1年を通して旬の野菜を新鮮な状態で提供できるよう、朝一番で収穫して出荷しています。これからは夏野菜を出していく予定です。減農薬にこだわっていますので、安心してお買い求めください。

営農技術ヒント・ポイント

協力　農業技術センター　0463-58-0333

普及指導部
- 果樹花き課　果樹（伊藤）　花き（藤平）
- 野菜課　（吉岡）
- 作物加工課　作物（辻本）

野菜　ハヤトウリの栽培

ハヤトウリはメキシコ南部から南米北部にかけての熱帯アメリカ原産のウリ科野菜です。日本には1917年（大正6年）に鹿児島県で導入されて栽培が始まったことから、薩摩隼人の瓜という意味でハヤトウリ（隼人瓜）の和名が付きました。1株で100～200個以上の果実が収穫できることから、センナリウリ（千成瓜）の別名もあります。

短日条件で着花（果）し、秋の彼岸過ぎから霜が降りるまで収穫できます。果実は漬物や炒め物、煮物などに利用されており、東南アジアなどでは、若芽（つる先）も青菜として盛んに利用されています。手で折れる柔らかさの若芽はくせがなく、炒め物や汁物などによく合います。

ハヤトウリには、果皮が白色と薄緑色の品種があります。白色種は比較的刺毛が多く、果実は緑色種より小さいものの、果肉は白く青臭さは少ないです。緑色種は白色種より丈夫でたくさん収穫できますが、果実に青臭さがあり食味は劣ります。

暑さに強くて土壌適応性の幅は広く、吸肥力が強いことから生育は極めて旺盛で、病害虫被害もほとんど無いことから比較的手間を掛けずに栽培できます。一方、寒さには極めて弱く、気温の低下とともに生育が衰え、1回霜にあたると茎葉が黒変して枯れます。

栽培は、遅霜の心配がなくなった5月中旬以降とし、果実を種子としてそのまま植えます。果実には大きな種子が1個入っていますが、果実から取り出すと発芽が悪くなるので、そのまま植えるようにします。株間は2㍍以上空け、元肥として1株当たり堆肥2㌧、化成肥料30㌔程度を施用します。ただし、前作の肥料が残っている場合は無施肥としてください。

つるが繁茂するので棚を作り、植え付け後、2週間から1カ月を目途に誘引すると良いでしょう。

追肥は植え付け1カ月半後に化成肥料を株当たり30㌔程度株元に追肥し、以後は毎月1回、同量を施用します。

収穫の目安は気温の高い時期で開花後15～20日、気温の下がる降霜前では25～30日となります。霜にあたると果実が傷むので、降霜前に全果実を収穫します。貯蔵する場合はもみ殻などの中に埋め込み、冷涼な室内に置けば翌春まで利用できます。なお、種子用に開花後40～50日の完熟果を別に保存しておきます。

新しい食材としてハヤトウリの若芽（つる先）を直売品目に加えてみても面白いと思われます。

（吉岡）

年金相談会

これから年金を受け取る皆さまの複雑な受給手続きのお手伝いをさせていただきます。

日時・場所
6月8日（金）秦野駅前支店
6月14日（木）南支所
6月17日（日）本町支所

ご来場の方に記念品を進呈

※時間は午前9時～午後4時まで　どなたでもご相談いただけますので、お気軽にご来場ください。

事前予約をされると便利です
●年金受給手続きを相談される方は
信用課 TEL.81-7716　当日は 0120-954-092

MN20180525T505H2100A11 状態： 05月25日H連1 ・東京１１版

協同の力を発揮し求められるJAへ

市内83会場で春の座談会

JAはだの

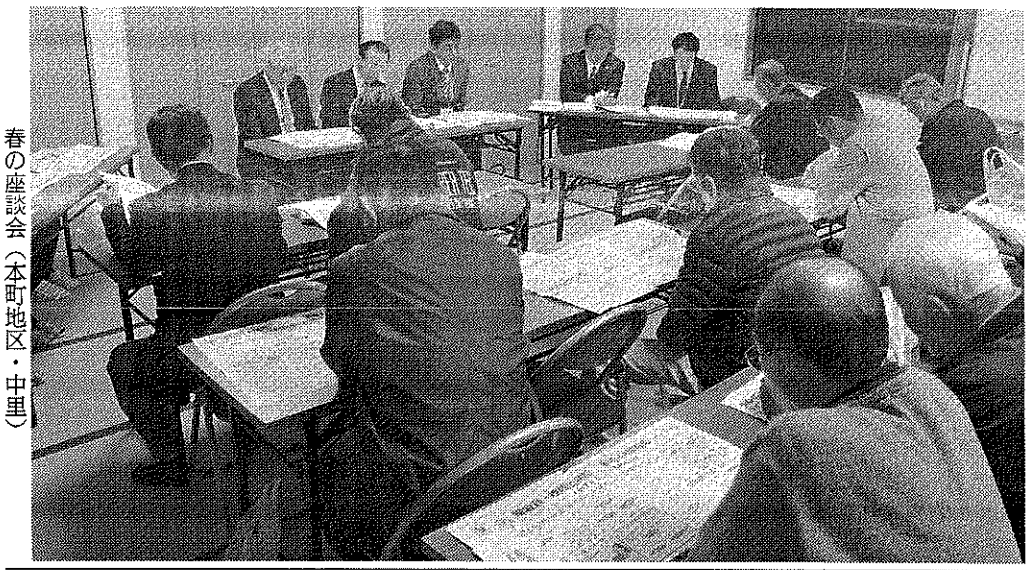
発行所
秦野市
農業協同組合
（神奈川県）
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711(代)
編集兼発行者 宮永 均

JAはだの
R70
古紙パルプ配合率70%再生紙を使用

ＪＡはだのは「春の座談会」を4月6日(金)から18日（水）まで、市内83会場で開きました。

座談会には、全体で1246人の組合員が出席し、645件の意見・要望が寄せられました。これらの意見・要望は、担当部署や担当部会で検討を重ね、さらに理事会で協議しました。ここに主なものを報告します。

組合員の皆さまから寄せられた意見・要望を今後のＪＡはだのの運営に反映させ、さらに発展させるために役立てていきます。



春の座談会（本町地区・中里）

営農

農業振興基金で農家応援

意見 剰余金処分案にある「地域農業振興基金」とは何か。（北）

対応 剰余金の中から地域農業振興活動の経費に充てることを目的に、積み立てているものです。2008年から始まり、積立額が今年度で目標額の10億円に達します。この基金の運用益相当分を活用し、昨年度は430万円を地域農業振興大会の開催費用の他、電気柵や病害虫防除対策の助成金として活用しました。その他、農業生産資材価格の高騰や自然災害などに対する備えとしての役目も担います。

意見 水稲「はるみ」が神奈川県の奨励品種となり、日本穀物検定協会による食味ランキングで、2年連続の特Ａを獲得したとのことだが、集荷状況は。今後の概算金価格の設定について、どう考えているのか。（大根）

対応 2017年産の集荷結果では「はるみ」が1443袋、「キヌヒカリ」が707袋でした。

しかし、自給的農家では販売農家ほど「はるみ」への切り替えが進んでいない状況です。特Ａの獲得を契機に「はるみ」を有利販売するとともに、概算金をより高く設定することで作付けを促していきたいと考えています。

意見 落花生を秦野市の特産として維持・振興するための具体策を考えているのか。また、秦野市の落花生に対する補助金の上限が2万円から4万円に増額されたと聞いたが。（大根・北）

対応 生落花生の生産は増加していますが、土ざや落花生の集荷量が著しく減少しています。対策として、既存生産者に生産の維持や拡大を呼び掛け、新たな担い手に対する作付けを進め、特産作物としての振興に努めます。

秦野市の補助金は10㌃当たり4万円（申請は1㌃から可能）が上限となり、予算額に達した場合は案分となります。申請は市税の滞納が無く、秦野市内で生産されたものが条件で、所定の様式に作付け内容を確認する書類などを添付し7月13日までに提出することが必要です。ＪＡが一括して秦野市への申請と生産者への交付業務を行いますが、土ざやと「うでピー」の原料をＪＡに出荷して播種（はしゅ）前契約を締結し、指定の土壌診断を実施することなどが条件となります。

意見 地域振興作物のニンジンにかつての「みのげニンジン」のように、知名度を高めるよう努めてほしいが、昨年度の取り扱い実績はどの程度だったか。また、B品（規格外）の定義について知りたい。（東・北・西）

対応 15人の生産者が38㌃で栽培しました。B品まで含めた実績で、集荷量は4697㌔、販売金額は59万1800円で、平均単価は1㌔約1126円でした。市場流通規格であるS～2Lのサイズに収まらないものや、岐根（きこん）や変形でも、商品として著しい問題がない物をB品としています。

意見 体験型農園とは。また「さわやか農園」との違いは何か。体験型農園を開設する条件はあるのか。（大根・南・北）

対応 体験型農園は農地を貸すのではなく、農業経営に消費者が利用者として参加する農園です。園主が農業経営に従事していることが前提で、要件を満たせば相続税納税猶予制度が適用されます。園主が農具や種苗を用意し、1年間の作付け計画から栽培指導までを行い、育てた野菜を全て収穫してもらう契約栽培方式です。農園利用者は、家族が手塩に掛けて育てた野菜を収穫して自家消費できます。

「さわやか農園」は、農家が維持・管理できなくなった農地をＪＡはだのが管理して区画ごとに貸し出す事業です。

開設条件は特にありませんが、圃場（ほじょう）の整備や農具と保管場所の確保、トイレの設置など、事前投資も必要となり、開園に際しては計画的な取り組みが必要です。

意見 ＝組合員からの意見要望
対応 ＝意見要望に対するＪＡの対応

はだの都市農業支援センター

鳥獣捕獲後の処理方法は

意見 捕獲おり・くくりわな・箱わなどで捕獲した鳥獣は捕獲後にどこに連絡をし、どのように処分をしたら良いのか。（全地区）

対応 秦野市内には現在、捕獲おり73基、くくりわな88個、箱わな209個が設置してあり、有資格者が捕獲しています。小動物捕獲後は適切に処理して埋却し、各支所へ種類・捕獲頭数の報告をお願いします。シカ・イノシシなどの大動物は、止め刺しなどの処分がありますので、平日は、各支所またはは はだの都市農業支援センターへ連絡をお願いします。土・日曜日・祝祭日は、該当の猟友会へ連絡をお願いします。なお、ご不明な点がございましたら各支所または、はだの都市農業支援センターへご連絡ください。

意見 鳥獣被害対策として、国などの予算が増えているように見えるが、行政に予算の増額を要望するなどの対応は行っているのか。（大根・北）

対応 国では特別措置法という法律の下で、県・市でも独自の補助制度をつくり有害鳥獣の駆除を積極的に行っています。しかし、行政などが被害調査をすると生産者からの協力が得られず、統計上、被害面積や被害額が減少した結果となり、補助金が減額されます。適正な予算を要求するためにも被害調査への協力が必要です。被害調査への報告を継続することにより、補助金などの予算が増額されるものと考えます。

意見 市内では高齢化が進み農業後継者などの担い手不足が懸念されており、数年後には荒廃農地となってしまうのではないかと心配だ。農地を有効活用できる仕組みはないのか。（南・北・西）

対応 農業者の高齢化で担い手不足が深刻化するとともに、鳥獣被害による耕作意欲の低下も見受けられます。農地利用の他、荒廃農地解消に向けた対策として、農地を借りたい方に、利用権設定による農地の貸し付けや売買のあっせん、特定農地貸付事業による「さわやか農園」への農地の貸し付け、「はだの市民農業塾」の修了者への農地あっせん、農業委員会が対応する「農地銀行制度」の活用など、ご要望に合わせた提案ができますのでご相談ください。

目次

1面…営農・はだの都市農業支援センター関係
2面…店舗販売・経済・生産資材・葬祭・改革推進関係
3面…組織教育・生活福祉・信用関係
4面…融資・共済・監査・企画・総務・㈱協同コンサルトはだの関係

春の座談会出席状況

2018年4月6日(金)～18日(水)

地区名	出席人数（うち女性）	意見要望
大根	160（43）	90
本町	113（46）	65
東	174（46）	83
南	175（53）	101
北	131（44）	89
西	281（86）	160
上	121（39）	51
本所	91（47）	6
合計	1246（404）	645

店舗販売
じばさんずに定休日を設置

意見 じばさんずに定休日を設けた理由は。また、なぜ毎月第2火曜日が定休日なのか。（本町・東・西）

対応 今までは正月の三が日を除き、年中無休で営業していたため、施設や備品のメンテナンスを夜間に行い、割増料金など経費が多く掛かっていました。オープン後15年が経過し、さらにメンテナンスの必要性が見込まれるため、「はだのじばさんず運営協議会」での協議を経て今年3月から定休日を設けました。過去のデータを踏まえ、売り上げが他の日に比べて低いこと、近隣に水曜日を定休日としているファーマーズマーケットがあることから、第2火曜日を定休日にしました。

今後は定休日を利用し、店舗の維持管理に努め、パートなど従業員教育も行う予定です。

意見 「Ｊ－ｂａｒ－ＧＡＰ」とは何か。（本町・東・北・西・上）

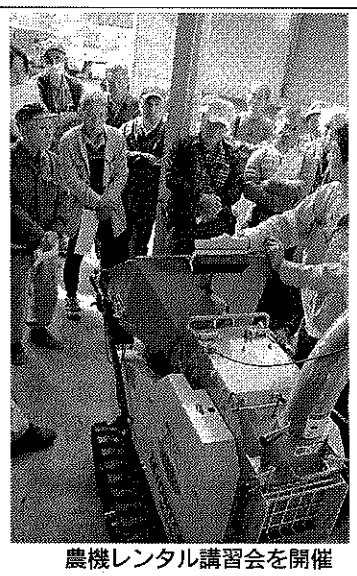
対応 県内初の直売所オリジナルのＧＡＰ（生産工程管理）です。食品安全・環境保全・労働安全に関する法令などを遵守するための点検項目を定め、その実施・記録・点検・評価を繰り返しつつ生産工程の管理や改善を行なうものです。じばさんずでは、点検項目を段階的に増やし、県基準のチェックシート127項目を目標に普及を図ります。農畜産物の生産や加工品の製造の安全を確保し、より良い農業生産の実現に向けて取り組んでいきます。

意見 特産センター秦野店が閉店になると聞き、残念だ。閉店になる理由は。（大根・本町・東・南・西）

対応 特産センター秦野店は、秦野駅前農協ビルの竣工以来、長年にわたり営業を継続してきました。秦野赤十字病院の移転や秦野駅南口の再開発などで利用者の動線に変化があったことに加え、近年の北口整備や改札前スーパーのリニューアルなどにより、売上が減少し続けていることが主な要因です。

また、駐車場が無く車での来店ができないこと、出荷や納品時に交差点横に駐車せざるを得ず、交通面の指導も受けていることも理由の一つです。

生産資材
農機レンタル事業とは


農機レンタル講習会を開催

意見 農機レンタル事業で貸し出しているチッパーについて説明してほしい。（大根・本町・東・南・北・西）

対応 チッパーは粉砕する便利な機械です。大変危険な機械なのでレンタルには条件があり、講習会を受講した上で農業労災または傷害保険に加入することが必須です。チッパーは8・10・13馬力（投入口のサイズ）の3台を用意しています。メンテナンス料として1日2000円（税別）で、貸し出し日数は最大2日間です。運搬費は片道1500円（税別）、自走式で、燃料のガソリンは満タンにして返却をお願いします。

意見 電気柵の助成は今年度も継続していくのか、また助成額はいくらまでか。（東・南・北・西・上）

対応 需要が多いことから今年度も継続して対応します。助成は年度内に1回事業費の1／2以内、上限3万円を限度とし、部品だけの申請も可能です。ＪＡグループ神奈川農家応援プログラムの有害鳥獣対策費用助成事業については、事業費からＪＡの助成金などを控除した額の1／2以内で15万円まで助成を受けられます。こちらは対象条件（耕作面積30㌃・販売金額50万円以上など）がありますので、申請については各支所・支店、ＪＡグリーン、営農課にご確認していただき、ご利用をお願いします。

意見 生産資材・肥料・農薬の価格はホームセンターと比較して安いのか。（本町・東・南）

対応 ＪＡでは定期的にホームセンターなどの価格調査を実施した上で、ＪＡ全農かながわなどと価格交渉を行い、資材・肥料・農薬の一部同品目を特別価格で提供するなど、価格低減に取り組んでいます。予約注文をご利用いただければ、おおむね有利な価格対応で提供しています。また、価格だけではなく、品質の良いものを安定供給することを前提に業者の選定などに努めていきます。

経済
迅速で適切な価格設定

意見 小田原市内でレギュラー1㍑138円の時にＪＡはだの給油所は139円だった。ガソリンの価格はどうやって設定しているのか。（本町・西）

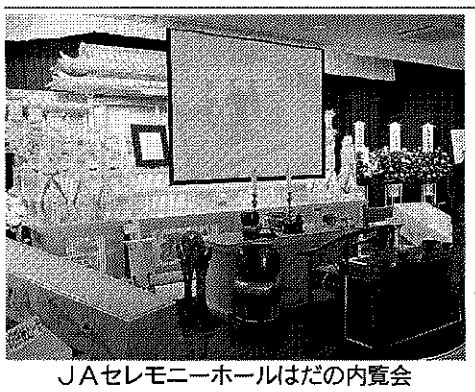
対応 ガソリン価格の設定については、日々、市内のガソリンスタンドの価格を注視し迅速かつ適正な価格設定を行っています。

また、東・西支所の給油所については有人ですので、セルフスタンドには無いサービスを今後も行っていきます。

意見 長時間プロパンガスを使っていたら自動的に止まってしまい使えなくなった。（上）

対応 長時間の使用により「あんしんキャッチ24」が作動したことが要因です。煮物を作る時など長時間使用していると安全のため自動的に止まるようになっています。ガスが止まってしまうとＪＡ－ＬＰガス厚木保安センター（海老名市）から確認の電話が入りますので、状況を伝えてください。状況を判断し開栓方法をお伝えします。

葬祭
さまざまな葬儀形態に対応


ＪＡセレモニーホールはだの内覧会

意見 ＪＡセレモニーホールはだのは大きな葬儀しかやらないというイメージを持っている人がまだたくさんいる。小規模葬といった柔軟な対応もできることをもっとＰＲするべきではないか。（東）

対応 少子化の影響で葬儀の規模は年々小規模化していますが、葬家の意向に沿った規模の葬儀施行に努めています。

また近年は、直葬（通夜・告別式を執り行わないお別れ形式）・ワンデー葬（通夜を執り行わず、告別式1日のみの葬儀）も新しい葬儀の形態として取り上げられています。ＪＡでは、僧侶や葬家の意向に沿う形でいかような形態の葬儀にも柔軟に対応しています。

意見 ＪＡセレモニーホールはだのの照明について、祭壇周辺は明るいが一般席周辺が暗く親族があいさつする際、顔が見えないので、全体を明るくしてもよいと思う。（大根）

対応 式場の演出として、開式前・式中・閉式後とホール内天井照明の明るさを調整していますが、より細かく場面に応じた照度の調整をするよう努めます。

改革推進
組合員の役割とは

意見 正・准組合員の利用規制の実施とはどういうことか。また、准組合員規制の対策は考えているのか。（本所・大根・本町・南・北・西）

対応 政府が規制改革会議での意見を基に、准組合員の事業利用を正組合員の1／2に制限することを農協法改正にあたり検討しました。准組合員の利用規制は見送られましたが、附則として施行日から5年経過する日（2021年3月末）までの間、正組合員および准組合員の事業利用の状況と農協改革の実施状況についての調査を行い、検討を加えて結論を得ることになっています。

准組合員の事業利用の規制が行われた場合、安定した経営を存続することが難しくなると考えられます。合併や金融共済事業の分離（代理店化）への選択を迫られ、総合事業を営むＪＡの解体につながる恐れもあります。利用制限を断固阻止するため、農協改革に取り組むとともに、正組合員には、准組合員が農業経営を継続する上で必要な存在であること、准組合員には、今まで以上に農業や食に対する関心を高めていただき、正・准一体となって農業を守り、さらなる振興ができるよう農業協同組合の組合員として役割を果たしていただくよう呼び掛けていきます。

意見 私たち准組合員がどのような活動をすれば、ＪＡの取り組みの力になれるのか教えてほしい。（本所）

対応 「正組合員とつながり強化にむけて」に5つの例を挙げましたので参考にしていただき、正・准すべての組合員がＪＡはだのに結集することが重要であると考えます。

意見 新東名サービスエリアでの農産物販売の話はどうなっているのか。（北・西）

対応 新東名のサービスエリアへの出店については、ＮＥＸＣＯ中日本から開通の3年前にならないと具体的な話ができないということでしたが、情勢が変わり開通の半年前となりました。

サービスエリア内に出店する場合、24時間営業や高額な賃料、農産物を常時確保できるかなど課題が多いことから、決定したテナントと交渉し、農産物直売コーナーの設置や、飲食店に秦野の農産物を使ってもらうよう秦野市などの協力を得て交渉を進めていきたいと考えています。

正組合員と准組合員のつながり強化に向けて

1．農業協同組合の組合員として、農業の果たす役割や食の安全・安心について関心を持ちましょう。
2．協同組合講座などを受講し、協同組合について積極的に学びましょう。
3．地域農業の振興のため「ＪＡはだのみんなで地産地消運動」を実践しましょう。
4．支所を拠点とした地域に根差した協同活動やＪＡの行事に参加しましょう。
5．「ＪＡはだの農業応援定期貯金」など農業を支援するＪＡの事業を利用しましょう。

MN20180525T505H2200A11 状態： 05月25日H連２ ・東京１１版

組織教育
かわら版で情報お届け

意見 支所のかわら版がとても好きでよく見ている。手書きなのでパソコンにはない味わいを感じる。また、職員を紹介していた時があり、とても見やすく貯金なども安心して利用できた。（南・上）

対応 ありがとうございます。皆さまの協力のおかげで充実した紙面となりました。今後もいろいろな形で情報発信に努めますので、情報提供をお願いします。

意見 座談会の会場によって出席人数が大幅に違うと聞いた。出席者が年々減少している実態をJAは把握しているのか。また、会場をまとめるなどの考えはないのか。さらに、座談会で出た意見でJAの運営に反映された事例はあるのか。（南・北・上）

対応 出席者を集計し、参加状況を把握する努力をしています。近年では会社勤めの方も多く、少人数の会場では複数の生産組合と合同で開催しています。夜間の開催が困難な場合は昼間に開催している会場もありますので、各生産組合で多くの方に参加いただけるよう検討をお願いします。

また、平日に出席することができない組合員を対象に、土曜日に本所で座談会を開催し、約90人の組合員に参加いただきました。

座談会の意見対応については、理事会などで協議・検討し、主な内容を組合員に報告しています。近年では生産組合への負担軽減策の実施や農業機械のレンタルなど、座談会での意見・要望を踏まえた内容が実現しています。

意見 「やえのちゃん」と「ぴーなマン」を活用したグッズは作製しないのか。（南）

対応 オリジナルビーカステラの「ぴーなマン焼き」は、おかげさまで好評をいただき、各種イベントで販売しています。女性部では、Tシャツを作成しました。

今後も各種資料や媒体などでもキャラクターを活用して地域への浸透を図っていきます。

意見 特定生産緑地について、資料だけでは分からないので、詳しく説明してほしい。（大根・北・西）

対応 2017年6月に生産緑地法が改正され、生産緑地を保全する仕組みとして「特定生産緑地制度」が創設されました。特定生産緑地とは、指定から30年が経過しようとしている生産緑地について、10年間の延長ができる制度で、10年経過後も繰り返し10年間の延長が可能です。

なお、特定生産緑地の指定を受け、引き続き農地の管理をすることにより、税制上の優遇措置が継続されます。いつ生産緑地に指定したのか分からない場合は、秦野市役所都市政策課で確認することができます。

意見 JAは生産組合をどのような位置付けとしているのか。（上）

対応 生産組合はJAの基礎組織として位置付け、なくてはならない存在です。都市化に伴う農地・正組合員の減少や准組合員の増加など環境が変化していますが、JAでは視察研修会や総会開催への助成も行い生産組合の活性化に努めています。

意見 支所運営委員会による協同活動の内容は支所ごとに異なるのか。また、協同活動とはどのようなものなのか。さらに、委員の中に准組合員は何名いるのか。もっと准組合員の参加人数を増やしていくべきではないか。（東）

対応 支所運営委員会は、支所を拠点とした地域に根差した協同活動の強化を目的としており、活動は支所によって異なります。活動としては、地域農業振興ならびに農業への理解促進につながるイベントの開催、組織活動を通じた地域貢献などが挙げられます。准組合員の委員は現在1～2名となっています。今後、委員の構成や多くの方が参加できるように活動内容を検討していきたいと思います。

本所に設置している「地域のかわら版紹介ボード」

生活福祉
健康で長生きを目指す

意見 「JA健康寿命100歳プロジェクト」とはどのような活動なのか、またどのような結果が出ているのか。（西・上）

対応 「JA健康寿命100歳プロジェクト」は「運動」「食事」「健診・介護等」の3つの活動を主体とし、地域住民の心身にわたる健康寿命を創造する活動を展開していくものです。

人間ドックなどの助成の他、健康福祉大会や各種スポーツ大会の開催など、組合員やその家族の健康増進に努めています。2017年度は「ぴーなマン体操」を考案し、体操する事で健康的な身体づくりや秦野の特産である落花生をPRしました。現在も継続中であり、活動の成果が出るよう取り組んでいきます。

ぴーなマン体操で健康増進をサポート

意見 農産加工セミナーで教えている加工品はどのようなものがあるのか。（本町）

対応 主なものはジャムやまんじゅう、おはぎ、漬物などです。セミナーでは、市内にある加工所の巡回や、加工の衛生管理・包装資材などをテーマにした講義を開催して知識や技術の習得を促し、農産加工品を出荷できるようになるまでの育成をサポートします。また、一般の方も参加できる公開セミナーも開催しています。

意見 生活習慣病健診が12月から7月に変更になったのはなぜか。（西）

対応 JAはだのでは、7、8月を健康福祉充実月間と定めて諸活動を行っていますが、2016年よりJA県厚生連から閑散期の12月に実施してほしいと依頼があり、変更していました。しかし、受診者から冬は寒いので着替えが大変などとの要望があったため、今年度より元に戻すことになりました。

信用
定期貯金で農業を応援しよう

意見 農業応援定期貯金について教えてほしい。（大根・東・北・西）

対応 農業に直接貢献できる仕組みとして、農家所得の増大、農業生産の拡大に寄与することを目的とした定期貯金です。1口50万円で預入限度額はありません。50万円の預け入れで5000円分（0・1％相当）の専用くみあい利用券を進呈します（一人上限1000円分まで）。この専用くみあい利用券は、農畜産物や農産加工品の購入の際に使用でき、じばさんずをはじめ各直売グループ運営の直売所を含め全9カ所で使用できます。また、お預けいただいた貯金総額の0・02％相当額を地域農業振興費へ充当し、農業者の応援に活用します（貯金者の負担はありません）。金利はスーパー定期1年（単利型）の店頭金利で、事業分量配当金の対象外となります。

農業応援定期貯金で生産拡大に寄与

意見 本町支所の全自動貸金庫について教えてほしい。（大根・東・南）

対応 年額の使用料は組合員1万8000円（税別）、員外2万1600円（税別）で、利用時間は平日・休日ともに午前8時30分から午後9時までです。カードと暗証番号で個室に入った後、貸金庫番号を入力して保管庫を呼び出し、鍵で開閉します。災害時に備えバッテリーによる予備電源を設置しています。

意見 振り込め詐欺の被害が増えているが、最近の手口と未然防止に向けた取り組みを教えてほしい。（東・南・北）

対応 行政の職員を名乗る還付金詐欺や架空請求詐欺、警察・金融機関などを名乗ってキャッシュカードを預かり暗証番号を聞き出すキャッシュカード手交型詐欺、現金手交型詐欺が増加しています。最初は高齢者の自宅に掛けてくるのが大半のようです。高齢者の出金などの際には、小まめな声掛けやアンケートを活用し、資金使途の確認や振り込みによる手続きをお願いするなど、被害の未然防止に努めています。60歳以上の100万円以上の出金（疑わしい場合）は、神奈川県警察より通報を求められています。

4月26日より、JAバンク神奈川の取り組みとして高齢者の詐欺被害を防止するため、満70歳以上で過去3年以上JA貯金口座でのお取り引きが無い方を対象に、ATMでの出金と振り替え（振り込み含む）の取り引きができないよう制限させていただきました。

意見 定期貯金は開設店舗でないと解約できないが、開設店舗以外でも解約できるようにならないか。（東・南）

対応 4月1日より、JAはだのの内であれば定期貯金通帳（総合口座通帳含む）による窓口取引での解約が開設店舗以外でもできるようになりましたので、通帳式定期貯金（総合口座含む）をお勧めします。ただし、本人名義普通貯金口座への振り替えに限定されます。

ドライブしよう、
頼れる安心と一緒に。
クルマスター 自動車共済
くらしの保障、相談するなら
JA共済
●ご加入にあたりましては、お近くのJA(農協)へお問い合わせください。
■JA共済ホームページアドレス　http://www.ja-kyosai.or.jp
18481050169

融資　財源確保に自主運用を強化

意見　ＪＡ県信連からの奨励金が減るなら、今後財源はどのように確保していくのか。ＪＡはだのの自主運用を高めていくべきではないのか。（西）

対応　ＪＡでは、貸出金や有価証券による自主運用を強化しています。貸出金は、住宅ローンなど個人ローンの取扱拡大やＴＡＣ（地域農業の担い手に出向く営農担当者）と貸出担当者が連携して担い手を訪問し、農業を資金面からも支援し、多様なニーズに応える取り組みを行っています。

共済　セット割引でお得に契約

意見　ＪＡの自動車共済に団体割引はないのか。（東）

対応　団体割引はありませんが、各種の掛金割引があります。特に「自賠責共済セット割引」「農業用貨物車割引」などＪＡ共済オリジナルの割り引きもありますのでご検討ください。

意見　農作業中、他人に損害を与えた場合に備える共済はないか。（大根）

対応　賠償責任共済の「農家包括特約付個人賠責」に加入いただくことにより備えることができます。また、建物更生共済とセット加入することで割安で加入いただけます。

意見　長期共済の新契約が増えているのに対し、保有が減っているのはなぜか。（東）

対応　新しい建物更生共済が誕生したことで新契約は増えましたが、転換契約が多く保有には寄与しなかったことや、利回りの低下および満期時の年齢・健康状態などの事情により満期契約の継続ができなかったことなどが主な要因です。

総務　理事の定数を変更

意見　通常総会提出議案「役員の選任について」とあるが、変わった点は何か。（大根・北）

対応　理事の定数は36人から25人に、監事が7人から5人に変更となり、役員は合計で30人体制となります。また、理事の過半数は認定農業者または実践的能力者とし、業種別部会についても区域からの推薦となります。

意見　正組合員が減少しているが、要因は何か。また、准組合員が正組合員になる方法はあるのか。（大根・東・西）

対応　正組合員の高齢化により、相続時の脱退や相続人が市外に居住するなど、資格要件を満たせずに、脱退せざるを得ないことが要因に挙げられます。２０１６年８月から正組合員加入促進運動に取り組んでいますが、増加には至っていません。定款に正・准組合員の資格要件が定められており、その要件に基づき組合員資格は判断されます。

意見　本町支所の新店舗は大きな建物だが、どのような設備を備えているのか。駐車場はいつごろ完成し、月決めを行うのか。（本町・南・北）

対応　１階は全自動貸金庫を設置し、休日は各種ローン・年金相談会などを開催できる相談室を複数設けました。２階は１００人が収容できる多目的ホールと、料理教室としても使用できる会議室を設置しました。

駐車場の完成後は44台の駐車スペースとなるため、月決めは行わず、時間貸しだけとなります。近隣駐車場と同様に、入庫後一定時間までの上限設定を予定しています。

国道２４６号沿いの角地を活用し野菜苗を販売

監査　会計監査人を選任

意見　農協法改正に伴い、貯金２００億円以上のＪＡに公認会計士の監査が義務付けられるが、ＪＡはだのの公認会計士は連合会などの組織が指定するのか。（北）

対応　農協法に基づき、２０１９年９月末までに会計監査人を選任する必要がありますが、連合会などが指定するのではなく、ＪＡはだのの組合員に選任いただく予定です。具体的には、19年5月に開催予定の通常総会において議案を上程し、会計監査人を選任します。

意見　事業計画の普及推進活動目標がポイントで表示されているが、ポイントとは何か。組合員が分かりやすい表示にすべきではないか。（東）

対応　生存保障ニーズなどの高まりにより総合的な保障を提供するために、全ての共済契約実績を共通の基準で表示できる新たな指標として、２０１７年度から推進ポイント方式を導入しました。新契約高の実績および保有高については、従来通り保障額での表示としておりますのでご理解ください。

企画　内部留保を一層充実

意見　剰余金処分案の中で出資配当が３％から２％になっているがなぜか。（全地区）

対応　全国水準と比べると県下ＪＡの出資配当率は高く、昨今のマイナス金利政策や農協法改正を踏まえた中で、出資配当率の引き下げについてＪＡ県中央会から指導されました。

その対応として、２０１７年度剰余金処分案では、内部留保を高めつつ、事業分量配当を維持し、さらに次年度以降のマイナス金利の影響による収益の低下に備え余裕を持った次期繰越剰余金を残すため、出資配当率を２％としました。

意見　現在の自己資本比率はどれくらいか。ＪＡはだのは健全経営なのか。（西）

対応　２０１７年度末時点で17・06％になり、国内業務だけの銀行などに適用される国内基準４％以上、ＪＡバンク統一基準８％以上を上回っており、健全経営と言えます。さらに内部留保の充実に努めます。

意見　本町支所の多目的ホールなどの使用料は決まっているのか。また、休日に会議室などを使用することができるのか。（南・北・上）

対応　多目的ホールなどの会議室は組合員組織（生産組合・各種部会・女性部・青年部）が使用する場合は無料とし、組合員グループや員外利用の使用料については有料となります。

６月から平日の一般貸し出しを予定しています。休日の利用は、ＪＡ主催の会議などがあり、職員が対応できる場合については使用することが可能です。詳細は本町支所にお問い合わせください。

意見　じばさんずに隣接する国道２４６号沿いの角地が整備されたが、活用は検討しているのか。（上）

対応　イベント（農業まつり、じばさんず周年祭、年末市など）で売り場面積を広げ活用しています。現在は、野菜苗の売り場としています。

㈱協同コンサルトはだの　各種相談に対応

意見　ＪＡの生活支援で販売に関しては充実しているが、相続の相談サービスを充実してもらえるとありがたい。以前、ある店舗に相談したら、窓口が違うと言われ帰されてしまったので、そういうことだと困る。（上）

対応　今年度から、税法務相談と相続相談は㈱協同コンサルトはだのので対応しています。相談窓口は、身近な渉外担当者や最寄りの各支所・支店でも結構です。法務相談と税務相談は毎月相談日を設けて開催していますのでご利用ください。